

## 1 学校教育目標

「自ら考え 行動し ともに伸びる」

目指す西っ子像

自律 協働 挑戦

|   |              |            |
|---|--------------|------------|
| か | んがえを表現する子    | (自律)       |
| い | っしょに学び励まし合う子 | (協働)       |
| た | のしくたくましく学ぶ子  | (挑戦)       |
| に | っこり笑顔で       |            |
| し | あわせを実感する子    | (自己肯定感の向上) |

子どもたちを取り巻く社会は著しく変化し、自分にとって要不要を問わず情報があふれ、多様化している。人々のその時その時の状況により、「明快な解」が存在しないのかもしれない現在、児童が、**自ら進んで他者と対話し、他者の考えを傾聴し自分を見つめ、折り合いをつけることや自分の意思を大切にしながら、よりより行動を選択し、行動していく力を身に付けること（西中校区「育てたい資質・能力」主体性・メタ認知・コミュニケーション力）**は非常に重要である。

「す」：すなおな子 「て」：手を挙げて積極的に発言する子

「き」：気持ちの良い挨拶のできる子 「な」：何事にも全力で取り組む子  
を目指して教育実践を行ってきた。

この実践をさらに積み上げていくために、学校教育目標をより具体的な「姿」として表し、目指す子ども像として「自律・協働・挑戦」を意識した教育活動を展開していく。

考えを表現し、友達と協働して学びを積み上げ、興味関心をもちながらワクワク感とチャレンジ精神をもって学びを進めていく。その結果、自分もしくは自分たちの学習や行動を肯定的に捉え、「わかった」「できた」「一緒に学んで楽しかった」「がんばったよ」という笑顔とともに生じる「幸せな気持ち」を認識した児童の姿を大切にしていくことは、自己肯定感の向上にも大きくつながると考える。

## 3 目指す教職員像

「One Team」

私達は子どもたちの現在と未来に関わる職業に携わっている。よって教職員同士思いやり、教職員がスクラムを組み、日々の実践のなかで高め合い、私達自身が学び続けていく。

学校の主役は児童である。学校経営方針「かかわりきる教育活動」の通り、児童に寄り添いかかわりきる教職員であるとともに、良いことは共に喜び合い、課題には共に知恵を出し合い解決に向けて動く、互いに「かかわりきる」教職員であることを目指す。

## 4 学びの変革の深化

- (1) NIE をいかした探究的な学びの実践と道徳科を関連させ児童の道徳的実践力を高める。 ～西小カリキュラム（仮称）の作成と実践～→R8「西小道徳の探究プログラム」の

## 実施と改善

(2) ICT 教育の一層の推進

(3) 個に応じた指導・支援の充実 ……特別支援教育の推進

不登校児童等への支援

個々の児童に関わり多数の多様な目で児童を捉え、指導・支援にいかす

……毎週金曜日の生徒指導連絡会での情報交換・指導支援の方向性を揃える

5 校長としての願い **学校経営四訓 筋を通す・論より証拠・簡潔明瞭・先手必勝**

(1) 学校経営理念 信頼される学校 学校の主役は『子供』

子供、保護者、地域、教職員が共に、安心・満足できる学校にする

「自分が子供だったら、通いたい学校」

「自分に子供がいたら、通わせたい学校」

「自分が職員なら、働きたいと思える学校」

思いや願いを「聴く」ことを大切にする（子供・保護者・地域の方・職員同士）

……地域・保護者は学校の応援団

人と接するときは笑顔で。子供と接する際には、特にごきげんよい笑顔で。

1 日の大半を占める授業の中で ～生徒指導の実践上の視点をいかす

自己存在感の感受 共感的な人間関係の育成

自己決定の場の提供 安心安全な風土の醸成

(2) 「風通しのよい『心理的安全性』のある職場に」

○ 先生方がたのしくたくましく仕事をしましょう！「何とかなる・何とかする」

○ これまでの実践の積み重ねがあって今の海田西小学校がある『たすきをつなぐ』  
のは私達一人一人である。新しい風と融合しながらまた新たな海田西小学校の歴史  
を「One Team」で創っていく。

○ 「報・連・相」の 「お・ひ・た・し」

「報告・連絡・相談」⇔「怒らない 否定しない 助ける 指示を出す」

○ いいことも、悪いことも、すぐに、報告・相談（教職員→教頭→校長）

・ 一人で抱え込まない 特に悪いことは、早い方がいい  
（緊急なら夜や休日でも構わない）

・ その日のうちに解決（保護者への回答：手紙×，電話△，家庭訪問○）  
できれば子どもより早く伝える。「先手必勝」

・ 保護者対応（特に苦情），児童への個別指導は，単独対応を避ける

○ 職員も児童もあいさつを大切に

・ 来賓，来客（PTA 含む）への対応（自分に合いにこられてなくても挨拶を）

・ 意見や相談は，管理職に直接伝える（私から話すこともある）。

○ 儀式での服装（始業式・終業式も含め）

○ メ切を守る。期限内に提出できないときは、必ず担当者や管理職にその旨を伝える。

(3) **世の中の変化に「敏感」になることを意識しよう** ……業務改善へのつながり

○ 目の前の子どもをみたとき、学校全体をみたとき、今やっていることがこのまま  
でよいのか？もっとよい方法があるのでは？というクリエイティブな考えをもつ

(4) メリハリをつけて仕事をする。

⇒ 定時退校の推進（水曜日は、すいすい水曜日：午後 5 時 40 分退校を目標とする）  
日常的に 18:30 退校をめざす。